

地域活動を通じて行動する住民が変える未来

公民館名	今市公民館	人口（令和2年12月）	1,431人
		世帯数（ 〃 ）	679戸

1 公民館で力を入れてきたこと、これからも続けたいこと

公民館や地域を取り巻く社会状況が大きく変容する中、普遍的な一つとして【気軽に立ち寄り話のできる住民の拠り所】を目指した。その観点にたち、【今市地区まちづくり推進委員会との強固な連携を礎にした協働事業】を続けた。結果として【公民館事業とまちづくり推進委員会事業のアウトプットが多様に展開し関わる住民の応援者意識】が増えた。今後も、こうした地道な経験を積み重ね我が町へのシビックプライド醸成へと繋ぎたい。

2 特色ある活動や行事・取組等の実践事例

(1) 旭っ子フェスティバル ～いまいちハッピーハロウィン～

平成20年10月、島根あさひ社会復帰促進センター開所に伴い今市地区は人口が一挙に300人近く急増した。

新たな住民と交流できる活動が必要となり、前年度実施した旭っ子フェスティバルを、平成24年度（2012）から交流事業「いまいちハッピーハロウィン」として取り組んだ。

事業を「知ってる・好きだ」の共感が「行動する・奨める」流となり、子どもや保護者、地域の方（高齢者・中高生含む）、団体、協賛事業所など400人以上が関わる活動となった。交流事業に留まらず地域活性化事業として継続している。令和2年度旭っ子フェスティバル～いまいちハッピーハロウィン～は10回を数えた。



(2) いまいち桜プロジェクト～桜のまちづくり～



旧今市小学校校庭には、樹齢70年程の「市子桜（いちこさくら）」と愛されるソメイヨシノが立ち並ぶ。平成21年（2009）、「市子桜」の名前となった由来を調べ学習した児童らが市子桜の保護を提唱した事から、児童と共に公民館や地域が保護活動を続けてきた。その今市小学校も平成28年3月閉校となり、143年の歴史を閉じた。

閉校後、公民館がこの桜活動を事業化し今市の多くの団体の関わりで保護を継続している。平成28年の開花からは、毎年今市自治会によるライトアップも始まるなど、今市地区のまちづくり事業としても継続している。

(3) わいわい健康ウォーキング in（今市・丸原・坂本・南高台）

今市地区を形成する4自治会を毎年巡るウォーキングを開催し、令和2年度（2020）で第12回を終えた。公民館の「学び」、「つどう」機能とコーディネート力で自治会内の各種団体を「つなぎ」継続実施している。自治会と自治会を跨いだ関係人口増にも繋がり、開催地元自治会の知られざる魅力の再発見・発信にも活かされて継続している。

